



サマーキャンプ

私がこれを書いているのは3月の中旬です。今年の冬は、地球温暖化の影響なのか大変に暖かく、今まで雪がほとんど降りませんでした。ところが今頃になって「この冬初めてのスノーストーム」がやって来ました。昨日などは終日、気温は氷点下。本日も寒さが続いている、窓の外はまだ雪景色です。

その状態で書く今回のテーマが「サマーキャンプ」です。これは、寒い中、少しでも暖かい話題で気を紛らしたい、ということではありません。この時期に、子供を持つアメリカの親達は夏休みのサマーキャンプ関係でアタマを悩ませなければならないのです。「サマーキャンプ」は半年先の話題ではなく、まさに今の話題なのです。

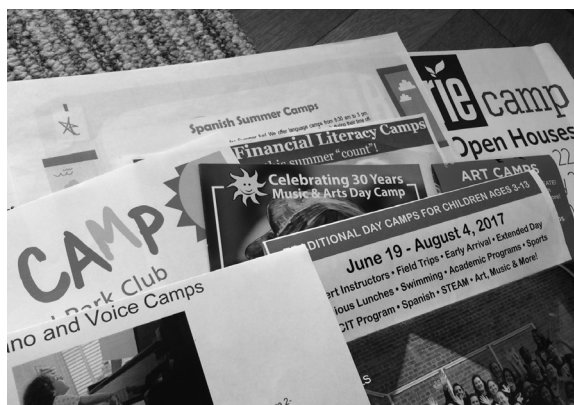
ワシントンDCの学校の夏休みはとても長く、通常6月中旬から8月終わりまで、2カ月以上続きます。この間を子供にどう過ごさせるか？ 高校生にもなれば、自分の好きなスポーツに打ち込んだり、何か大きなプロジェクトを立ち上げたり、アルバイトをしたりと自分で色々できます。しかし、まだ独り立ちできない子供を持つ親（うちは、娘6歳と双

子の息子3歳）の多くは、子供をサマーキャンプに行かせることを選びます。

アメリカのキャンプビジネスは非常に発達していて、システムとしてきちんと出来上がった形になっています。「キャンプ」というと山や海辺で数日過ごすというイメージが日本では強いですが、「サマーキャンプ」のほとんどは日帰り、地元で行われます。朝行つて夕方帰ってくる“デイケア”だと言ってよいでしょう。

主催団体は、郡や市などの公共機関（図書館、博物館、動物園など）の他、音楽や演劇の学校、スポーツクラブ、自然愛好団体などのNPO、コミュニティグループなど、色々あって数えきれません。そこでは、音楽やスポーツなどの指導を受けることもできますし、集団遊びや日帰りの遠足などを通じて色々な経験もできます。

料金は、民間企業が主催する高いものだと1週間400~500ドルが相場です。これに子供を2カ月も行かせたら総額は何十万円にもなってしまいます。もちろん、施設は立派だし、バスでの送迎付きだし、支払額に応じた



Pre-Camp	Week 1	Week 2	Week 3	Week 4	Week 5	Week 6
June 19-23	June 25-29	July 3-7	July 10-14	July 17-21	July 24-28	July 31-Aug 4
Nursery School Programs N-PK	Summer Minis Castilian Capers	Summer Minis Castilian Capers	Summer Minis Castilian Capers	Summer Minis Castilian Capers	Summer Minis Castilian Capers	Summer Minis Castilian Capers
Cheri & Robotics Explorers \$410	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480	Summer Juniors Valencia Voyagers \$480
Flag Football \$390	Water Works \$410	Tennis (AM)	Golf (PM)	EverWonder	EverWonder	EverWonder
Lower School Programs K-3	Tennis (AM)	Golf (PM)	EverWonder	EverWonder	EverWonder	EverWonder
Upper School Programs 4-6	Summer Seniors Tennis (AM)	Summer Seniors Tennis (AM)	Summer Seniors Tennis (AM)	Summer Seniors Tennis (AM)	Summer Seniors Tennis (AM)	Summer Seniors Tennis (AM)
Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)	Duo-Bots Flag Football (\$410)
Middle School Programs 7-9	CTI Program	CTI Program	CTI Program	CTI Program	CTI Program	CTI Program
Additional Explorations	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)	Early Arrival Extended Day Tennis (\$175)

クオリティは付いてきます。アメリカではその程度の金額はまったく気にならない富裕層も厚いので、このような高級キャンプもしっかりビジネスになっています。

普通の親は、郡や市が主催する公共施設のキャンプを狙います。こちらであれば相場は2週間で100~300ドルくらいです。そして当然ですが、富裕層の親より普通の親の方が圧倒的に多いですから、こちらの申し込みは熾烈な戦いとなります。

キャンプ争奪戦は、クリスマスから元旦にかけてのホリディシーズンが終わる1月初旬から始まります。普通のキャンプでは送り迎えを自前でしなければならないので、まずは、職場や自宅からの距離やアクセス方法を考えながら、地図とにらめっこして候補を探します。ワシントンDCでは、公共施設の具体的なキャンプのスケジュールが1月の終わり頃に発表されますので、それを待って、候補に挙げておいたキャンプに優先順位をつけるとともに申込み日を確認します。

さらに、公共機関のキャンプに当選しなかった場合に備えて「滑り止め」プランもつくりまします。この時期になると、様々なキャンプを行う様々な民間企業が一堂に会して行う「キャンプフェア」も開かれるので、そこにも参加してみて吟味し、いくつかのすべり止め候補を選びまします。

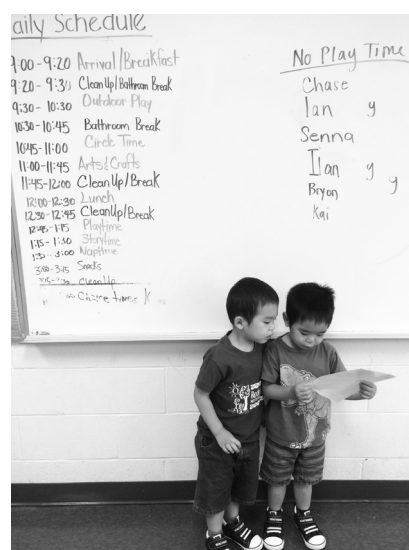
やがて、それぞれのキャンプごとに決められた申し込み日がやってきます。それが今の時期です。申し込みはオンラインで行うので、パソコンの前に座って待機します。そして定刻直前になると、まるでネットオークションで締め切り直前に入札するときのように、何度もマウスをクリックするのです。うまく申し込み画面に繋がればラッキーです。繋がらなければそれまで。各キャンプの定員は20名程度なので、多くは勝負がほんの数秒でついでしまうのです。

今年も、色々なキャンプに申し込みを試み

ましたが、なかなかうまくいきませんでした。最初に立てたプランは当然にボツ。たとえば、第一希望だった娘の水泳キャンプは、ワシントンDCに数カ所しかないインドアプールで行われるので人気が高く、申し込み画面にさえたどり着けませんでした。思わず、日本で2016年の流行語となった「保育園落ちた日本死ね」が脳裏をよぎりました(笑)。

一度立てた作戦を何度も変更しながらも、最終的には、あまり遠くない場所で、子供たちが楽しめそうなキャンプに申し込むことができました。集団遊びキャンプ、スペイン語キャンプ、勉強もするアカデミックキャンプ、テニスキャンプ、ヨガキャンプ。

最後の写真は、双子の息子が昨年参加したキャンプの時間割です。我が家の子供達は今年のキャンプでどんな人と出会い、どんなことを経験してくるのでしょうか。楽しみです!



筆者紹介

宮川良夫 (みやがわ よしお)

United GIPs代表、弁理士・米国パテントエージェント
1956年 京都生まれ。1978年 同志社大学工学部卒業。
1986年 弁理士登録、1997年 米国パテントエージェント登録。
新樹グローバル・アイピー特許業務法人を初めとして、世界7カ国(地域)にて8箇所の特許事務所設立、経営に携わる。1995年以来、ワシントンDCに滞在し、現職場はUnited IP Counselors, LLC。趣味は、Rock Creek Parkを有効利用した犬の散歩と子(孫?)育て。好きな言葉は「天地不仁」。